

スクラップ&ビルド+アルファの行政快革（四国中央市）

【取組概要】

合併協定で総合支所方式を採用。各庁舎での機能重複等、著しく非効率で合併のメリットが生かせていない問題が顕在化したため、時代の要請に応えられなくなった制度・システムを改正・廃止し、価値を高めて再構築するスクラップ&ビルド+アルファの取組を実施。

人口 92,041人
担当部署 経営企画課

【取組みの効果】

- ・組織の集約により専門性が高まるとともに、ボランティア推進等これまで取り組めなかった分野への人員配置も可能。
- ・窓口ワンストップサービスによる住民の利便性の向上。



【他団体へのアドバイス】

- ・住民アンケートなどでも窓口サービスについては特に関心が高い。
- ・住民ニーズを広報委員会や市民サロン等で把握し、最適なサービス提供方法の見直しを図っている。

【創意・工夫した点】

- ・本庁舎への集約が進むことで、周辺部が寂れるのではという住民の懸念に対しては、各庁舎に市民窓口センターを配置し、ワンストップサービスでの利便性向上を図ることで配慮。